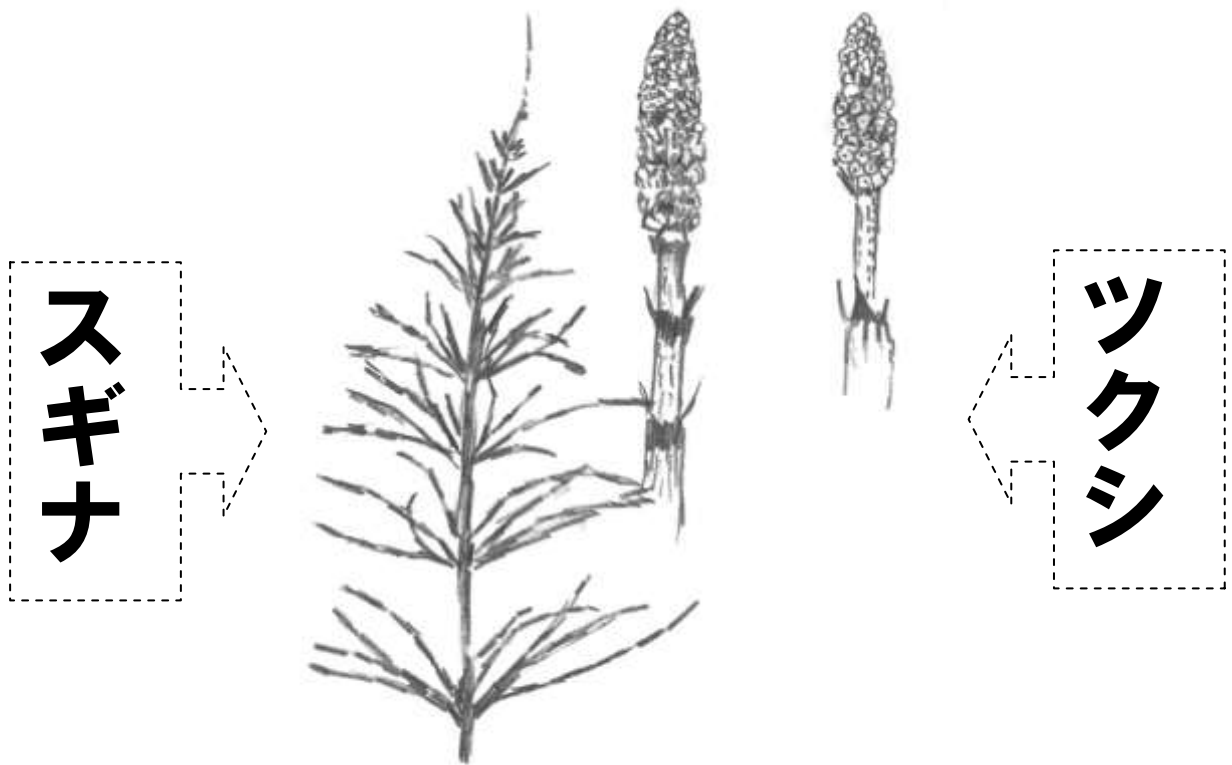


# 花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく2

国立市立国立第七小学校

平成27年3月13日 NO.99 (199)



モンタ博士「♪ つくしの子がはずかし気に顔を出します ♪ もうすぐ春ですね ♪」

オー君 「あれ、モンタ博士がまたへんな歌を歌っているぞ。だれの歌ですか。」

モンタ博士「かつての超スーパーアイドル『キャンディーズ』の歌さ。」

オー君 「キャンディーズ…？知らないな…。この前は、山口百恵がどうしたとかいっていただけ、みんな昔の古い歌でしょ。今はJ Soul Brothersの時代ですよ。」

花ちゃん 「ところで、上の絵はツクシですね。それから、左はスギナですね。」

モンタ博士「そうだね。右のツクシはかわいらしくて、みんなもよく知ってるね。それから、ツクシは食べたりしておいしいんだよね。でも、それに対して、スギナは畑の雑草として、みんなにきらわれているんだよ。」

オー君 「ほんとうに、つくしはすぎなの子なの…？」

モンタ博士「スギナとツクシは、もちろん同じものなんだ。ただし、ツクシはスギナの子ど

もではないんだ。スギナというのは、他のアサガオやタンポポなど種でふえるの植物とちがって、『シダ植物』といって、『孢子』というものでふえる植物なんだ。ツクシというのは、孢子をつくる

ものであって、普通の植物でいえば、『花』になるね。」

オー君 「シダ植物？。それじゃ、普通の植物はなんて言うの。」

モンタ博士 「種でふえるから、種子植物というんだ。種子植物には、マツやスギのような裸子植物と被子植物とかがあるんだ。そのうち中学へ行くとかわしくお勉強すると思うよ。ともかく、シダ植物というのは、大昔からあるものだということだけ覚えておいてね。」

花ちゃん 「大昔というのは、どのくらい前なのですか。」

モンタ博士 「スギナの仲間は、約3億年前ころにさかえた植物さ。」

オー君 「3億年前！そのころの地球って、どんなだったのですか。」

モンタ博士 「シダ植物が全盛（たくさん栄えること）でね、30mもあるスギナのお化けみたいのがあちこち、によきによきと生えていたらしいよ。それに、2億5000年前ころは、パンゲア大陸といって、地球の陸地全部がくっついていたともいわれているんだ。」

花ちゃん 「ふーん。あんまり私たちには関係ないことのようにですね。」

モンタ博士 「そんなことないよ。スギナの祖先たちは、あちこちに森をつくり、それが、長い間に地中にうまり、長い間に変化して『石炭』になったんだよ。それで、今の人間社会のエネルギー革命がおこったんだよ。」

オー君 「ふーん。なるほど。そして、絶滅した植物も多くあるけど、スギナは今も生き続けているというわけですね。」

### 原子爆弾投下後の広島にスギナが・・・

畑の雑草として知られるスギナですが、地面の中のあちこちに根や茎をはわせています。ですから、簡単に駆除できないやっかいな雑草として嫌われているのもスギナです。しかし、悪いことばかりではないようで、かつて昭和20年8月6日、人類史上初めて原子爆弾が落とされた広島で、真っ先に緑を取り戻したのもスギナなんです。強烈な熱線をあび、緑が戻るには50はかかると言われた死の大地に芽を出したスギナは、廢墟に生きる多くの人々に生きる勇気を与えたのも事実なのであります。

つくし だれの子  
だれの子 すぎなの子  
すぎなの子 わらべうた  
つくしのぼうやは目がさめた